提出日：　　　　　年　　月　　日

**凍結精子搬入・個体生産許可願**

 所属　　　　 ：

 動物実験責任者 ：　　　　　　　　　　　 　　印

 連絡先(電話)　 ：

 連絡先(メール) ：

 所属長　　 ：　　　　　　　　　　　　　 印

医用動物資源支援部部長　殿

この度、凍結精子を搬入し、試験・研究に使用したいので、下記の通り系統情報を提供し、ここに許可の申請をします。なお、以下のチェックを入れた書類を添付します。

 □第二種使用情報提供（遺伝子組換え動物の場合、必須書類）

**－　系統情報　－**

**1. 入手先**（あなたに系統を譲渡する研究者の情報です。）

（1）所属機関・部局名　：

（2）職・氏名　　　　　　　：

**2．動物種**

種名　：

（異なる動物種を混在させず、1種類のみの動物種を書いてください。）

**3. 系統名** （下記の（1）から（3）に該当する事項等を入力してください。なお、1系統につきこの書類を1通使用してください。）

（1）遺伝子改変動物（該当する□に印をつけてください。また、系統名は正式名称を入力してください。なお、KO/KO、Tg/KOなど、複数の組み合わせの場合は、複数の□に印をつけてください。）

 1）カテゴリー：　□トランスジェニック（Tg）、□ノックアウト（KO）・ノックイン（KI）、□ゲノム編集（gm）

 2）系統名　：

（2）普通の近交系　（下線に沿って正式な系統名を書いてください。）

 系統名：

（3）その他 (（1）および（2）に該当しない場合は、下記にその系統あるいは動物の情報を書いて下さい。）

 系統名：

**4. 個体生産**

□する （医用動物資源支援部へ受託　□する、□しない） 、□しない

**＊個体生産する場合には5，6，7も記載してください。**

**5. 系統維持**

　　　□する、□しない

**6. 飼育期間** （研究計画書の実験実施期間と矛盾がないようにしてください。）

年　月　日～　　　　　年　月　日

**7. 飼養保管施設（飼育室）および実験室** （この系統を扱う部屋をすべて書いてください。）

飼育室：　　　　　　　　　　　　　　　　号室、　　実験室：

飼育室：　　　　　　　　　　　　　　　　号室、　　実験室：

飼育室：　　　　　　　　　　　　　　　　号室、　　実験室：

**8. 搬入の理由** （実験計画書の内容と食い違いがないようないように正しく書いてください。行を増やして

も構いません。）

**【重要事項】**

以下の10に加え、必要に応じて11あるいは12について学長承認が取れていない場合は、凍結精子を輸送し、施設へ搬入すること、および個体生産を含め、動物実験を開始することができません。

**9. 動物実験計画書**　（手許にある学長印が押されている計画書で確認してください。）

 　学長承認番号：　　　　　　　　　　　（8ケタの数字です。）

**10. 組換えDNA実験申請書**　（手許にある学長印が押されている計画書で確認してください。）

　　　　　　　学長承認番号：

**11. バイオセーフティ実験申請書**　（手許にある学長印が押されている計画書で確認してください。）

　　　　　　　学長承認番号：

**連絡事項等**（動物搬入に際し、上記以外のことで動物実験施設に連絡が必要な場合、この欄に書いてください。）